

# 放生 / 往還

Hōjō / Ōkan

京都府では、「海の京都(府北部)」「森の京都(府中部)」「お茶の京都(府南部)」エリアの歴史や風土、有形文化財や名勝、景観、豊かな自然や生活文化等を題材としたアートプロジェクトを展開してきました。今年度は、想像力を持つアートが新たな資本として、来るべき社会を変えて行く可能性をテーマにアートフェスティバルを開催します。地域文化と先端技術を組み合わせたデジタルアートによる空間演出や、地域文化資源発信型のアーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展示によって、地域の文化資源の魅力を引き出し、国内外へ発信、観光インバウンドの拡充と地域経済の活性化につながる取組として実施します。

2020年度に行った「京都:Re-Search in 八幡」でのリサーチをもとに、地域の新しいアートドキュメントを作成する展覧会を実施します。参加アーティストは、昨年度講師として招き、共に八幡に滞在した石川竜一、島袋道浩を含めた5名のアーティスト。彼らは『放生 / 往還』をテーマに、捨てられようとしているモノや、日常のなかで見過ごされている物事を拡張させ、生活から溢れた物を循環させる営みから、私たち人間を含めた生命の力強さを再認識できるよう試みます。未知と既知の経験を往還した各アーティストが、八幡で過ごした「身体的时间」によって、八幡という「場」に添い、地域性や歴史性をより鮮明にし、深めていく作品を発表します。

アーティスト・イン・レジデンス 芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のこと。

放生(ほうじょう) 功德を積むために、捕らえられている魚や鳥などの生物を河・山に放す慈悲行をいう。日本三大勅祭の一つ「石清水祭」の中の放生行事として行われる。

## 電車でのアクセス

京都	近鉄京都線+京阪本線 約40分	石清水八幡宮駅
大阪	大阪環状線+京阪本線 約45分	

## 車でのアクセスと駐車場

京都市内	京滋バイパス経由 約20分	久御山淀IC 大山崎IC	石清水八幡宮 松花堂庭園・美術館
大阪市内	名神高速道路経由 約45分	一般道 約10分	

※石清水八幡宮駅または展示会場周辺の駐車場をご利用下さい。



## プログラム・イベント

キックオフフォーラム(オンライン開催中)「想像力という〈資本〉—来るべき社会とアートの役割—」

配信期間 2021年11月7日(日)まで 参加者 オードリー・タンほか [URL alternative-kyoto.jp/news/275](https://alternative-kyoto.jp/news/275)

【ご来場の皆さまへ(新型コロナウイルス感染拡大防止のために)】

□マスクを着用の上、互いの距離を1~2m程度あけてください。 □発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、実施内容を変更する場合があります。ご了承ください。

オンライン  
開催中



SNS  
alternative.kyoto.AK  
@alternative.kyoto  
@alt\_kyoto\_

ウェブサイト

<https://alternative-kyoto.jp/>



# ALTERNATIVE KYOTO 想像力という

# 〈資本〉

## Imagination as a Form of "Capital" in Yawata

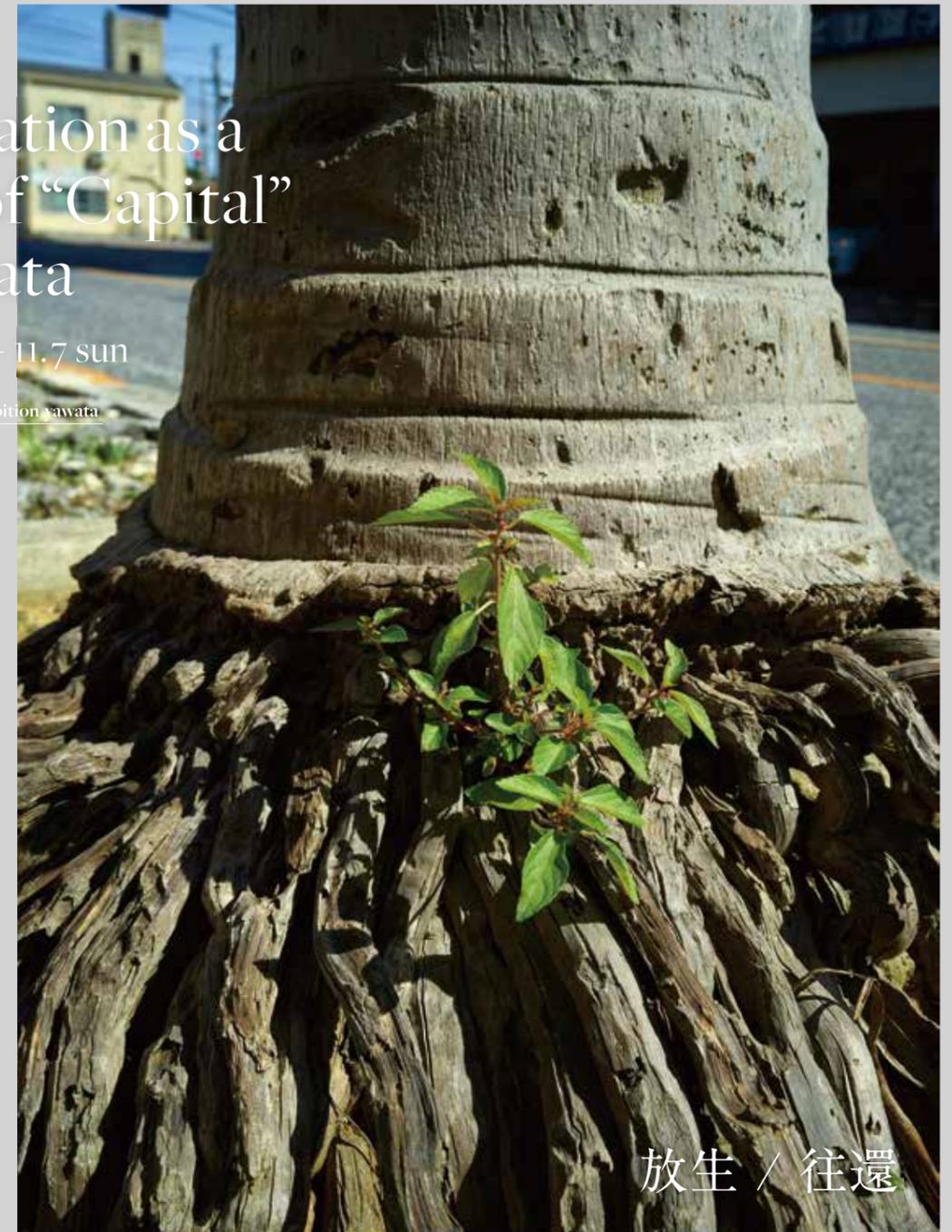
2021.10.1 fri - 11.7 sun

[alternative-kyoto.jp/exhibition/yawata](https://alternative-kyoto.jp/exhibition/yawata)

## 大京都 in 八幡

### Artists

石川竜一  
ISHIKAWA Ryuichi  
佐々木香輔  
SASAKI Kyosuke  
藤生恭平  
FUJIO Kyohei  
宮本一行  
MIYAMOTO Kazuyuki  
島袋道浩  
SHIMABUKU



放生 / 往還

© Ryuichi Ishikawa

## 2021年10月1日(金) - 11月7日(日) 八幡市内 [石清水八幡宮 頓宮殿/松花堂庭園・美術館]

※石清水八幡宮(山麓の頓宮殿) 9:00-16:00/松花堂庭園・美術館、月休 9:00-17:00(16:30最終受付)  
※松花堂庭園内の展示は、金・土・日・祝のみ公開。11.4(木)は臨時公開。入園料(大人100円・学生80円・こども50円)  
※会期や時間等は予告なく変更になる場合がございます。

問い合わせ先 京都:Re-Search実行委員会事務局 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町  
京都府文化スポーツ部文化芸術課内 電話番号 075-414-4287 E-MAIL [bungei@pref.kyoto.lg.jp](mailto:bungei@pref.kyoto.lg.jp)  
主催 京都:Re-Search実行委員会(京都府、八幡市、京丹後市、南丹市、丹波野町)/京都文化力プロジェクト  
実行委員会 共催 公益財団法人やまの市民文化事業団 協力 石清水八幡宮/一般社団法人八幡市観光協会

ALTERNATIVE  
KYOTO  
公式ウェブサイト  
はこちらから



令和3年度文化芸術活用推進事業

京都府域展開アートフェスティバル もうひとつの京都

## 01

## 石川竜一

ISHIKAWA Ryuichi



石清水八幡宮 頼宮殿

### 松花堂庭園・美術館

《Hōjōナウ!!》※両会場共通

八幡には巨大な集合住宅・男山団地があり、周辺には主要移動手段である自動車が行き交っています。生活を支える巨大な空間が営まれる一方で、この地には不要になった自動車が全国から集まる資源活用のためのスクラップ工場が運営されています。生活から溢れた物を循環させる営みを支える人々が暮らすこの町は、現代社会の生活が凝縮されているようで、その社会には物が溢れていることを教えられます。そんな生活のそばで生えている野草は、私たち人間を含めた生命の力強さを訴えてきます。団地とスクラップから着想を得た彫刻と道端の野草の写真で構成します。

石川竜一 | 写真家

1984年沖縄県生まれ、沖縄国際大学社会文化学科卒業。在学中に写真と出会う。2014年に沖縄の人々や身近な環境のスナップを纏めた『okinawan portraits 2010-2012』『絶景のポリフォニー』を発表し、木村伊兵衛賞、日本写真協会新人賞、沖縄タイムス芸術選奨奨励賞を受賞。現代の矛盾と混沌に向き合いつつも、そこから光を探るような作品を発表し、表現手段を横断しながら、活動の場も日本国内外に広げている。

# 04

## 宮本一行

MIYAMOTO Kazuyuki



### 松花堂庭園・美術館

《共振する躯体》

木津川に架かる上津屋橋は日本を代表する「流れ橋」であり、自然や社会に根ざした造形性と連続性を以って、周辺環境との共存を作り出している。この有機的な側面に着目して、流れ橋との身体的な対話を試みた。橋板を一枚ずつ踏み鳴らしていく行為を通じて、自己の身体だけでなく、他者としての流れ橋と音を生み出す対称性を捉えることができた。この足音は、人間だけではなく流れ橋が環境に発してきた音でもある。本作では、身体的な聴取の経験に基づき、これまで潜在的であった「流れ橋の足音」の豊かさを体験型のインスタレーション作品として提示する。

宮本一行 | 美術家・現代音楽家

1987年千葉県生まれ。2012年武蔵野美術大学大学院修士課程修了。音や光に着目した活動を展開し、人間と環境の相互作用のあり方を探究している。主な個展に、特定の自然環境下で起きる感覚とその関係性を読み解く「Outer Edge / 知覚の外縁」(2021)、日本酒貯蔵庫の特徴的な音響を引き出して再構成した「接触の形跡」(2020)、人間の網膜とデジタルカメラのレンズに映る像の差異に着目した「仮説の風景」(2017)など。

## 02

## 佐々木香輔

SASAKI Kyosuke



松花堂庭園・美術館

《scape》

ここではないどこかを夢みる（そこがどんな風景かはわからない）
現実味に欠けた部屋での暮らし（仮の住処とも思えない）
折り重なった時間が纏わりつく（絶えず後ろをついてくる自分の影）
カメラのファインダー越しに浮かぶ世界（すべては光の粒子となる）
その淡い光のなかに現れる不確かな存在（そして逃避行はいつもうまくいかない）
私はカメラ・オブスキュラという原初的な装置を用いて、八幡の生活者を写し撮る（いつかあなたも、ここを離れてしまうから）

佐々木香輔 | 写真家

1985年宮城県仙台市生まれ。2007年日本大学芸術学部写真学科卒。2007-09年、美術品撮影専門の株式会社飛鳥園に勤務、小川光三に師事。2009-20年、奈良国立博物館に写真技師として勤務。歴史や時間の重なり、記憶の継承を主題とする写真を主に制作。第41回キャノン写真新世紀優秀賞(2018)。第22回写真「I\_WALL」展ファイナリスト(2020)。

# 05

## 島袋道浩

SHIMABUKU



### 石清水八幡宮 頼宮殿

《再生》

町を形作る現代では欠かすことのできないコンクリート製の建物。しかし古くなったり、なんらかの理由で役目を終えると解体されて葬られる。そのいわゆる瓦礫を集める。そして捨てられる運命であった瓦礫にもう一度別の役目、命を与え芸術作品として再生させる。瓦礫にもそれぞれの「顔」があり、直立した状態は「生命」を感じさせ、人々にポジティブなエネルギーを送る。モノを立てるという単純な行為は、人間の原始的な行為であり、古代の我々の祖先と現代の私たちを結びつける。この作品は台風で倒壊し断片化した石清水八幡宮の鳥居を再構成した重森三玲の作庭とその思想にも共鳴する。

島袋道浩 | 美術家

神戸市出身。那覇市在住。1990年代初頭より国内外の多くの場所を旅し、そこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関するパフォーマンスやインスタレーション作品を制作。詩情とユーモアに溢れながらもメタフォルカルに人々を触発するような作風は世界的な評価を得ている。ヴェニス・ビエンナーレ(2003・2017年)、サンパウロ・ビエンナーレ(2006年)、ハバナ・ビエンナーレ(2015年)、リヨン・ビエンナーレ(2016年)などの国際展に多数参加。

## 03

## 藤生恭平

FUJIO Kyohei



松花堂庭園・美術館

《三川合流シュート》

京都市内から流れる桂川。滋賀県の琵琶湖から流れる宇治川。三重県や奈良県から流れる木津川。源流が異なる三本の川が八幡市で繋がると聞いたとき、その地点に行ってみたいと思いました。なぜ、目的地を設定し、そこへ向かうのか。そのモチベーション自体の作品化を試みます。三川の合流点へゴールを決めるべく、シュートを放ちます。

藤生恭平 | アーティスト

1989年三重県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程在籍。“人が自然環境を開拓/管理していくこと”をテーマに、土地や風景について作品制作に取り組む。主な展覧会に「適地適作」(53美術館・中国広州市・2019)、「記録する遊戯＃2　なんて花はじっくり見れんのにかビはじっくり見れへんのかはわからん」(わいわいば〜く・京都市・2020)、「南天1029M (メートル)」(galleryMain・京都市・2021)など。

# 関連イベント

- 「耕す\_水田跡地活用プロジェクト」
×ンバー 藤生恭平・辻村修太郎・中島明日香 他
会場 石清水八幡宮/頼宮横
かつて石清水八幡宮へ奉納する神供米を育てていた遊休農地で、地域の方々と協力して30年ぶりに農作物を作る風景を蘇らせます。
- 「松花堂昭乗の四つ切箱を使った　こども造形ワークショップ」

会場 松花堂庭園・美術館

[お弁当編]

講師 松尾美沙 (NPO法人こどもアート企画motto)

日時 10月10日 (日) 10:00-12:30

[団地編]

講師 辻村修太郎 (だんだんテラスの会・一般社団法人カンデ)

関西大学・大学院建築学科有志

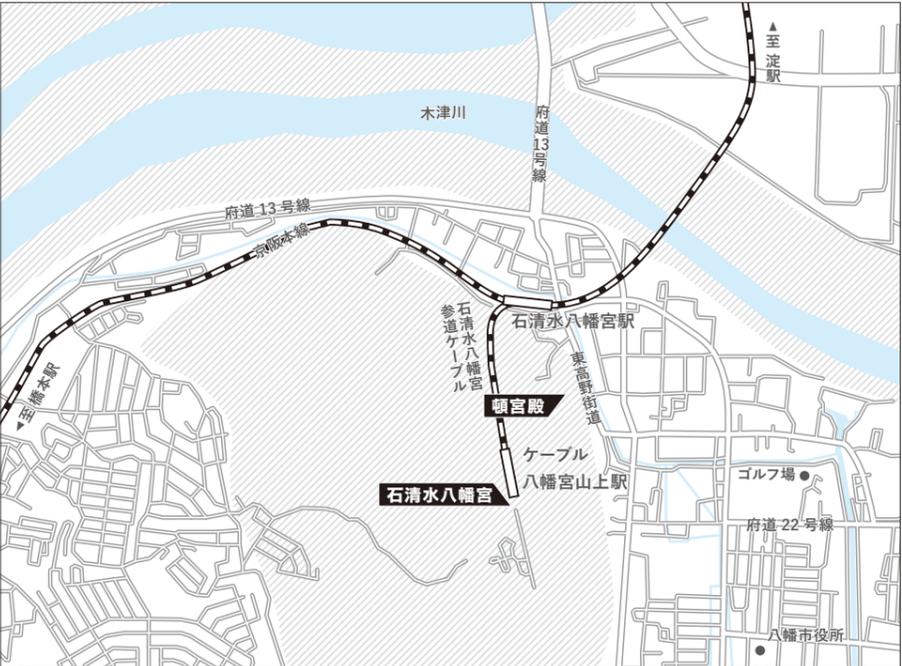
日時 10月17日 (日) 10:00-12:30

- および2.の最新情報を更新中
Facebook「だんだんテラス」
- 鑑賞ツアー
開催日時 10月2日 (土) 13:00-
ゲスト 菅啓次郎 (詩人・比較文学者)
集合 石清水八幡宮一の宮

- 彫刻《Hōjōナウ!!》ライトアップ
時間 17:00-21:00 会場 松花堂庭園・美術館交流広場

- サテライト展示
《OLYMPUS》山本昂二郎
期間 10月31日 (日)-11月14日 (日)
会場 京都府立山城郷土資料館

※発表期間内の展示・パフォーマンスなどの詳細についてはwebサイトなどで随時発表していきます。



### 石清水八幡宮 頼宮殿

〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊30

9:00-16:00

入場無料

### 松花堂庭園・美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1

9:00-17:00 (16:30最終受付) 定休日:月

入園料:大人100円・学生80円・こども50円

※松花堂庭園内の展示は、全・土・日・祝のみ公開。11.4 (木)は臨時公開。

## エリア間の移動 (バス)

<b>石清水八幡宮駅</b>	京阪バス樟葉八幡線32・77	<b>大芝・松花堂前</b>	徒歩 2分	<b>松花堂庭園・美術館</b>
	約15分			
<b>レンタル</b>		<b>飲食・宿泊について</b>		
<b>レンタサイクル</b>		八幡市観光協会ウェブサイトをご参考ください。		
石清水八幡宮駅前観光案内		八幡まるごとナビ:		
TEL: 075-981-1141／営業時間: 9:00-16:30		https://www.kankou-yawata.org/		

## ALTERNATIVE KYOTO 周辺エリア

in 福知山「余の光-Light of my World-

会場 福知山城公園/伯耆丸公園/旧銀鈴ビル

※会期、展示場所・時間等の詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

in 南丹「南譚:介在する因子」

会場 JR八木駅周辺各所

### 周辺の観光情報

位置情報はQR先のGoogleMAPをご覧ください。



**食べる | FOOD**

**1\_momo29 dining cafe**
八幡市八幡科手2-6
17:00-23:30 /
土日11:00-23:00
定休日:月
TEL:090-9984-0248

**2\_朝日屋**
八幡市八幡高坊11-4
11:00-15:00 /
17:00-21:00
定休日:木、第2・4水 (祝日前変動あり)
TEL:075-981-3202

**3\_やわた走井餅老舗**
八幡市八幡高坊19
9:00-17:30 定休日:月 (休日の場合は翌日)
TEL:075-981-0154

**4\_カフェ・キャンドル**
八幡市八幡高坊8-16
10:30-17:30頃
定休日:月・火 (不定休あり)
TEL:075-981-8330

**5\_京都吉兆 松花堂店**
八幡市八幡女郎43-1
11:00-14:30 /
17:00-19:30
(夜は予約のみ)
定休日:月
TEL:075-971-3311

**6\_とんかつ寿々久**
八幡市男山八望3-2 ファミール梅葉男山1F
11:30-15:00 /
17:00-21:00
定休日:日・月
TEL:075-983-2110

**7\_お茶の福翠園**
八幡市八幡源氏垣外1-4 (ファミレやわた内)
9:00-19:00 定休日:水
TEL:075-982-0086

**15\_QUÁN CHỊ NHUNG**
八幡市男山吉井2-34
10:00-20:00
定休日:水
TEL:070-4556-1213

**観光 | SIGHTSEEING**

**16\_神應寺**
八幡市八幡高坊24
10:00-15:00

**17\_飛行神社**
八幡市八幡土井44
9:00-16:30

**18\_単伝庵(らくがき寺)**
八幡市八幡吉野町内33
土日のみ9:00-15:00 (他の日は要予約)

**19\_高良神社**
八幡市八幡高坊

**20\_相槌神社**
八幡市八幡平谷10

**21\_淀川三川合流域 さくらであい館**
八幡市八幡在応寺
9:00-17:00
展望塔の利用は16:30まで
TEL:075-633-5120

※飲食店・観光施設は、新型コロナウイルス感染拡大状況により、営業時間・定休日が変更される場合があります。

**22\_青割堤地区**

**23\_善法律寺**
八幡市八幡馬場88-1
8:00-17:00

**24\_八角堂**
八幡市八幡大芝

**25\_流れ橋 (上津屋橋)**

**26\_やわた流れ橋 交流プラザ四季彩館**
八幡市上津屋里町内56-1
10:00-21:00 (月曜休/祝日の場合は翌平日)
TEL:075-983-0129

**27\_SCLARCH**
八幡市男山2番地A2-104
12:00-19:00 定休日:木
TEL:075-982-8266